

3・11 東日本大震災 早期復旧・復興を 原発事故被害深刻・島根原発も再点検を

3月11日に東日本を襲ったM・9の大地震と押し寄せた10メートル超の津波で甚大な被害が発生。死者・行方不明者合わせて二万八千人以上。また多くの方が家族・家屋等を失い2カ月近く経った今でも避難所生活を余儀なくされています。被災された皆様には心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。また福島原発事故により退避命令が出された皆様には何と申し上げたらいいか・深甚なるお見舞いを申し上げます。国・東電においては生活再建にきめ細やか且つ長期的な対応が必要です。全国各地・世界中から支援の輪が広がる中、雲南市も4月24日から6月5日まで保健師など3名6班集体で18名を派遣しました。支援先は福島県双葉町の避難先である埼玉県加須市内仮役場で相談業務等を行います。雲南市民挙げて応援しています。派遣職員各位には健康留意の上、存分にご活躍ください。

3月議会・23年度予算
二百六十七億円を可決

定例会最中に3・11大震災が発生。議会最終日、犠牲者に対し哀悼の意を表すと共に被災者の救済と被災地の復旧・復興に最大限の支援を行う事また原発事故への万全の措置を講じることを求める決議を採択し閉会しました。一般会計の当初予算は前年度より九億七千万円増。市立病院となった雲南病院に約七億円、海潮温泉・桂荘の増改築に二億二千万円、道路改良14路線四億三千万円、小中学校耐震化に3・5千万円、携帯電話鉄塔五千万円弱等。

原発検討委員会を設置

福島第一原発の非常事態を受けて雲南市も島根原発から20〜30km圏内に市内の一部が入るため中国電力に対して安全協定の締結を要請。議会でも**原発検討委員会**を設置。6月8日、島根原発現地を視察・勉強会を行います。百聞は一見に如かずです。福島原発の早期収束を願っています。

上山聖観音33年の 時を経て開扉法要

上山観音は聖観音、十一面観音、両尊菩薩、加えて出雲三十三番札所観音を上山及び近在の善男善女の寄進により安置。「天下太平、家内安全、五穀豊穡を祈願し奉り、天保十二巳龍初秋 徳祥山善福寺の境内に土地移し堂宇建立」と記され爾来安政七年、明治二十四年、大正九年、昭和二七年、昭和五四年と堂の屋根替え、改修に併せて開扉法要が行われていました。天保十一年子年(一八四〇年)は「天保の飢饉」に見舞われ農民は五穀豊穡と家内安全を観音様にひたすら祈ったと云う。祈願の行事として「餅さし」がある。15戸の当家を選び各戸から、もち米を集め供え餅を捧げたのが始まりと云われる。昔から旧正月十三日当家に集まり大鏡餅一斗五升、小鏡餅三升併せて約43Kgを搗き一六日夜、からげ木に縛り付け、深夜七回の奇声を挙げながら行進し観音堂に納められる。



33年に一度拝仏できる
両尊観音菩薩像 合掌

翌一七日に近郷の力自慢の若者が集まり絡めた鏡餅を差し上げる回数を競った。観音堂は朝から「それ!もう一つ!」掛け声や賑わいで活気が満ち溢れていたと云う。現在も毎年2月に伝統行事が引き継がれている。平成四年吉田村無形文化財に指定。今年**六月一九日**に三十三年ぶりに開扉法要が行われます。平常は拝仏することができません。この機会には是非お参り下さい。合掌。
(参考資料「ふるさと田井の伝承」(田井公民館編))



旧吉田村無形文化財餅さし

編集後記

市議会の任期もあつという間に半分以上が経過しました。この度、議会では種々議会改革についてプロジェクトチームを作り検討していただくことになりました。議会報告は継続。議員定数については1月までに決定する予定です。ご意見をお寄せ下さい。東日本は早期復興を祈ります。「日本は大丈夫!頑張りろっ!日本!」

眞